



上北だより

令和3年2月1日

練馬区立上石神井北小学校
校長 本橋 教子

心の支え

校長 本橋 教子

「おはようございます」と校門で止まって両手をそろえてきちんと頭を下げ、挨拶できる児童が大変増えました。その真心に頑張る力を充電させてもらっています。大人が支えているようで、実は子供たちも毎日、私たちを支えてくれているのを実感する時間です。

私事ではありますが、昨年の休校期間中の休日、普段、留守がちで地域のために貢献しにくい私にもできることはないかと始めたのが、自宅の庭掃除ついでに近所掃除です。我が家の東側はURのマンションなので職員の方が定期的にお掃除されているのですが、それでも植え込みのごみなど結構あります。また北側に大きな川が流れているので、風に飛ばされたごみはそのままマイクロプラスチックになりかねません。「整美委員会の子供たちの思い（令和元年度にマイクロプラスチックについて発表しました）に自分も応えられるかな。」そんな思いで細々とですが、続けてきたゴミレンジャーです。

そんなある日のこと。

歯医者帰りの橋のたもとに、なんと45Lごみ袋に満タンだっただろうごみが散らかっていたのです。

正直その様子に「誰が？気付かなかったのだろうか？」と散らかしてしまった相手と、拾わなかった行動を攻める気持ちがわいてきました。そしてすぐに「拾うか？どうする？」の迷いがわきました。普通は迷わないところでしょうが、「仕事帰りで道具はないし、夕食の支度もある、その上自分が散らかした訳でもないのに…さすがにこの量を拾うのは恥ずかしい。」と感じたのです。

その時、どうしようか迷っていた自分を後押ししてくれたのは上北小の子供たちでした。「子供たちの前に立つのに恥ずかしい自分でいたくない。」そう考えたら、迷いは吹っ切れました。自宅に帰って着替え、自転車にごみ袋やごみばさみなどいつもの道具を載せて直行しました。拾い始めてみたら、20分程度の作業だったと思います。きれいになった道に満足しながら自宅に戻りました。

実はこの話を書くのにも勇気が必要でした。でも子供たちに『あなたたちがいること自体が人を支えていること』『命を守る行動に恥ずかしさはないこと』を伝えたいと思い巻頭言とさせていただきます。

これからも子供たちのために最善を尽くせる学校を目指し、努力してまいります。今年も上北小の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1 5時間授業 書初め展・図工展 保護者参観	2	3	4	5	6
		参観時間 3:30~4:45				
7	8 子ども相談週間(始)	9 社会科見学(3年) 4時間授業(1,2年) 入学説明会	10 4時間授業	11 建国記念の日	12	13 土曜授業 子ども相談週間(終) 書初め展(終)
14	15 クラブ活動	16 避難訓練	17	18	19 6年生を送る会 保護者会(高)	20
21	22 S時程	23 天皇誕生日	24	25	26 卒業を祝う会	27
28						

【保護者の皆様の相談（密田スクールカウンセラー）について】

「予約制」相談員やスクールカウンセラーの勤務日に、相談室直通電話に連絡して直接予約をすることができます。（相談室直通電話：080-2012-2131）学校へ電話（03-3920-1011）して、副校長か担任に相談していただくことも可能です。

☆：こころのふれあい相談員の内田先生の勤務日（8：30～16：30）

◆：スクールカウンセラーの密田先生の勤務日（8：30～17：00）